

〔資料〕朝・日関係

(2006.4.22作成)

1894年 6月 2日	日本、朝鮮出兵を閣議決定
1895年 4月17日	日清講和条約(下関条約)
1895年10月 8日	閔妃暗殺
1904年 8月22日	第1次「韓日協約」
1905年 7月29日	桂太郎首相 - タフト米陸軍長官の秘密覚書
1905年 9月 5日	日露講和条約(ポーツマス条約)
1905年11月17日	第2次「韓日協約」(乙巳保護条約)
1906年 2月 1日	「韓国統監部」設置
1907年 6月29日	ハーグ密使事件
1909年10月26日	安重根義士、ハルビン駅で伊藤博文を射殺
1910年 8月22日	「韓国併合条約」
1923年 9月 1日	関東大震災 朝鮮人大虐殺
1939年10月 1日	朝鮮人強制連行開始
1939年12月26日	「朝鮮人の氏名に関する件」(創氏改名)
1945年 8月15日	第2次世界大戦終結、朝鮮解放
1949年 9月 8日	朝聯ほか朝鮮人4団体解散、財産没収、公職追放
1951年 9月 8日	「サンフランシスコ講和条約」
10月 4日	「出入国管理令・出入国管理庁設置令」
1955年 1月10日	鳩山一郎首相、中・ソとの国交回復、朝鮮との経済交流を表明
2月25日	南日外相声明、対日国交樹立と経済・文化交流討議する用意あり
5月25日	在日本朝鮮人総聯合会、結成
10月20日	朝・日国交正常化に関する両国議員団共同声明(第1次声明 平壤)
11月15日	自由・日本民主党合同、自由民主党結成
1956年11月	最高人民会議第12回会議、南朝鮮への核兵器搬入を非難
1959年12月14日	在日朝鮮人の帰国第1次船、新潟出港
1961年9月	朝鮮労働党第4回大会で原子力工業育成を決定(放射線と放射性アイソトープの利用、核エネルギー開発の科学研究)
1965年 6月22日	「韓日基本条約及び諸協定」
1968年 1月22日	米情報収集艦プエブロ号、朝鮮人民軍に拿捕
1968年 4月17日	美濃部亮吉都知事、朝鮮大学校を各種学校として認可
1971年11月16日	日朝友好促進議員連盟(久野忠治会長)、結成
1972年 7月 4日	南北共同声明
1972年 9月29日	日中国交正常化
1975年 4月24日	ベトナム戦争終結(サイゴン陥落)
1980年10月10日	朝鮮労働党第6回大会報告、「原子力エネルギー」開発を表明
1986年初	5千キロワット実験原子炉建設
1988年12月 6日	米朝参事官接触(北京)
1989年 3月30日	竹下登首相、朝鮮民主主義人民共和国を正式名称で呼び、反省・遺憾の意
3月25日	金日成主席、文益煥牧師と会談(4.2合意文)
1989年12月 2日	米ソ首脳会談(マルタ)で冷戦終結
1990年 9月 4日	第1回南北首相会談
9月28日	朝・日3党共同宣言(自民党・金丸信元副総理、社会党・田辺誠委員長)
1991年 1月30日	第1回朝・日国交正常化会談(~31日 平壤 田仁徹・中平立大使)
2月20日	朝鮮労働党代表団、来日(団長・金容淳書記 ~27日)
12月13日	南北基本合意書、調印
1992年 2月12日	朝鮮民主主義人民共和国原子力法の制定
4月10日	最高人民会議第9期第3回会議、IAEA保障協定を批准
11月 5日	第8回朝・日国交正常化会談、決裂(~6日 北京 李三魯・大使)
1993年 3月 8日	朝鮮、準戦時体制、宣布

	3月12日	朝鮮、NPT脱退宣言
1994年	4月	チマ・チョゴリ暴言・暴行事件(～7月)
	6月13日	朝鮮、IAEA脱退を表明
	6月15日	カーター元米大統領、訪朝(～16日)
	7月8日	金日成主席、逝去
	秋	朝鮮で大洪水
	10月21日	朝米ジュネーブ合意
1995年	1月17日	阪神・淡路大震災
	3月30日	朝・日4党合意書(自・社・さ連立与党代表団 団長・渡辺美智雄元外相)
	8月15日	村山富市首相、戦後50年談話
1997年	5月1日	日本警視庁、拉致疑惑7件10人を公表
	11月8日	第1回日本人妻里帰り
	11月11日	日本連立与党代表団(団長・森喜朗自民党総務会長)、訪朝
1998年	3月28日	拉致議連の中山正暉、桜井新、玉沢徳一郎議員ら訪朝
	8月31日	朝鮮、初の人工衛星「光明星1号」を打ち上げ
	9月1日	日本政府、国交交渉、食糧支援、チャーター便等凍結・制裁措置
	9月3日	日本衆参両院、全会一致でミサイル非難決議
	11月	米国で「5027 戦争計画」が報道される
1999年	3月16日	朝米会談合意、共同声明。政治・経済関係改善へ
	8月10日	朝鮮政府声明「対日3原則」(圧殺政策放棄、謝罪補償、力には力に対応)
	9月17日	米国、「対朝鮮経済制裁」一部緩和
	10月12日	ペリー元米国防長官、朝鮮政策見直し報告を公表
	11月1日	「特別永住」制施行
	12月1日	日本超党派訪朝団(団長・村山元首相)、国交正常化交渉再開などで合意
2000年	1月4日	朝鮮・イタリア国交樹立
	2月9日	朝・ロ友好善隣協力条約
	3月20日	米国、イラク侵攻
	4月1日	指紋押捺制度、全廃
	4月5日	第9回朝・日国交正常化会談、再開(～7日 平壤 鄭泰和・高野幸二郎大使)
	5月29日	金正日総書記、非公式訪中
	6月15日	南北共同宣言
	7月19日	プーチン大統領、訪朝(～20日)
	9月22日	朝鮮総聯の初の故郷訪問団
	10月8日	趙明禄国防第1副委員長、訪米。朝米共同コミュニケ
	10月23日	オルブライト米國務長官、訪朝
	12月12日	朝鮮・イギリス国交
2001年	1月15日	金正日総書記、非公式訪中
	1月21日	ブッシュ、米大統領に就任
	1月27日	姜錫柱外務第1副相、中川秀直・前官房長官と非公式接触(シンガポール)
	5月24日	朝鮮・EU外交関係樹立
	7月26日	金正日総書記、訪口(～8月18日 8月4日モスクワ宣言)
	9月3日	江沢民主席、訪朝
	9月11日	米国で同時多発テロ
	11月29日	日本司法当局、朝鮮総聯中央本部、東京・西東京本部を強制搜索
2002年	1月29日	ブッシュ、朝鮮など3国を「悪の枢軸」と非難
	3月28日	メガワティ・インドネシア大統領、訪朝(～29日)
	4月1日	日本政府、「キャッチオール規制」施行
	7月1日	朝鮮、経済管理改善措置
	8月20日	金正日総書記、訪口(～24日)
2002年	8月25日	朝・日外務省局長会談(～26日 平壤)
	9月17日	朝・日平壤宣言 金正日総書記・小泉首相会談(平壤)

10月 3日 ケリー米国務次官補、訪朝。姜錫柱外務第一副相らと会談（～5日 平壤）
 10月15日 拉致被害者5名、日本に一時帰国（24日永住帰国決定）
 10月16日 米国務省、「北朝鮮は核開発計画を進めている」と非難声明
 10月29日 第12回朝・日国交正常化会談（～30日クアラルンプール鄭泰和・鈴木勝也大使）
 11月14日 KEDO理事会。米国、年間50万トン重油供給打ち切り
 12月23日 朝・日交流協会、拉致議連・平沢勝栄議員らと接触（～24日 北京）
 2003年 1月10日 朝鮮、核拡散防止条約(NPT)脱退を宣言
 2月12日 金正日総書記、プーチン大統領から名馬3頭を誕生日プレゼント
 2月25日 盧武鉉大統領、就任
 6月 9日 「万景峰92号」、新潟入港を取り止め（8月25日 運航再開、PSC実施）
 8月27日 第1回6者協議（～29日 北京）
 11月11日 朝鮮外務省、人権蹂躪問題について朝・日政府間協議を提案
 12月10日 朝鮮・アイルランド国交
 2004年 2月 9日 「改正外為法」、参院決議（26日施行）
 2月11日 朝・日外務省協議（～14日 平壤 金永日次官・田中均外務審議官）
 2月13日 日帝強制占領下強制動員被害者真相究明等に関する特別法（3月5日公布）
 2月25日 第2回6者協議（～28日 北京）
 4月 1日 朝・日交流協会、山崎拓・元自民党副総裁らと接触（～2日 大連）
 4月19日 金正日総書記、訪中
 5月13日 朝鮮・サンマリノ国交（161カ国）
 5月22日 **小泉首相再訪朝、朝・日首脳会談**
 5月28日 **小泉首相、自民党総裁名で朝鮮総聯大会に祝賀メッセージ**
 6月14日 「特定船舶入港禁止特別措置法」、参院決議
 6月23日 第3回6者協議（～26日 北京）
 7月30日 高句麗壁画、世界遺産に登録
 8月11日 朝・日外務省実務者レベル協議（北京 ～12日）
 9月25日 朝・日外務省実務者レベル協議（北京 ～26日）
 11月 2日 米大統領選挙、プッシュ再選
 11月 9日 朝・日外務省実務協議（局長クラス）
 11月30日 米朝ニューヨーク接触（12月3日にも接触）
 12月 8日 「横田めぐみさん遺骨は別人」、対北制裁論高まる
 2005年 1月11日 米下院軍事委副委員長ウェルドン議員一行、訪朝（～14日）
 1月24日 朝鮮中央通信社、日本の「遺骨鑑定」はねつ造との備忘録
 2月10日 朝鮮外務省、6者協議の無期限中断、自衛の核兵器所有、対話・非核化を声明
 3月 1日 「船舶油濁損害賠償保障法」、施行
 3月16日 島根県議会、「竹島の日」制定条例、可決
 5月24日 小泉首相、自民党総裁名で朝鮮総聯結成50周年祝賀宴にメッセージ
 6月 7日 朝鮮国連代表部の朴吉淵大使、米デトラニ大使と接触
 6月 7日 南北協力事業・金剛山観光、100万人を突破
 6月 8日 金桂冠外務次官、米ABCテレビにインタビュー出演（平壤）
 6月 9日 EU、300万ユーロ対朝鮮人道支援を決定
 6月14日 6.15宣言5周年「民族統一大祭典」（平壤 ～17日）、開幕
 6月17日 金正日総書記、鄭東泳・統一部長官と会談。南代表らと午餐会
 6月21日 第15回南北閣僚級会談（ソウル）23日、12項目合意文発表 権浩雄内閣責任
 参事、盧武鉉大統領と会見
 6月22日 米国務省、5万トンの対朝鮮食糧支援を発表
 6月26日 南、追加肥料支援15万トン
 6月26日 訪北者数が1988年以来、10万人突破（南の統一部発表）
 6月27日 EU、1071万ユーロの対朝鮮追加人道支援
 6月30日 朝鮮外務省・李根米州局長、韓成烈次席大使、「全米外交政策会議（NCAFP）」
 主催の北東アジア安全保障会議（ニューヨーク ～7月1日）に出席。

- 7月 9日 欧州議会代表团、訪朝（～14日）
- 7月 9日 ニューヨーク・タイムズ会長一行、訪朝（～12日）
- 7月 9日 第10回北南経済協力推進委員会（ソウル ～12日 12日合意文発表）
- 7月11日 イタリア外務省代表团、訪朝（～）
- 7月12日 中国主席の特別代表・唐家璇国務委員、訪朝
- 7月16日 金正日総書記、玄貞恩・現代グループ会長一行と会見、午餐会
- 7月18日 北南光ファイバーケーブル接続
- 7月20日 第3回北南軍事事務会談（板門店） 軍事境界線の宣伝施設撤去で合意
- 7月20日 北南作家大会（～25日 平壤、白頭山）
- 7月26日 第4回6者会談、開幕（北京）
- 8月13日 CNN 創業者テッド・ターナー、DMZ 生態系保全のため訪朝
- 8月13日 南北間で西海軍事ホットライン運用（毎日午前9時と午後4時の二回）
- 8月14日 8.15 民族大祝典（ソウル ～17日）
- 8月14日 8.15 共同行事北側代表团、顕忠院（ソウル国立墓地）を参拝
- 8月14日 8.15 民族大祭典、開幕（～16日）南北統一サッカー（ソウル）
- 8月15日 金正日総書記、ロシア極東連邦地区プリコフスキー大統領全権代表と会見
- 8月16日 金正日総書記、ワシントンタイムズ社長会見。マスゲーム『アリラン』観覧
- 8月15日 北の貨物船「大同江」号、分断後初めて済州海峡を通過
- 8月16日 北側代表团、セブランス病院（ソウル）で療養中の金大中元大統領を見舞う
- 8月18日 金正日総書記への贈り物をフランクリン・グラハム牧師の特別秘書官が白南淳外相に伝達
- 8月18日 北南農業協力委員会第1回会議（開城 ～19日）
- 8月23日 趙容弼、平壤公演（柳京鄭周永体育館）
- 8月27日 タイのカンタティ外相、訪朝（～30日）
- 8月30日 米下院アジア太平洋小委リーチ委員長、訪朝（～9月3日）
- 9月 7日 安重根義士の遺骨発掘のための南北協議（開城）
- 9月19日 第4回6者協議共同声明
- 9月14日 第16回南北閣僚級会談（～16日）
- 9月21日 「北関大捷碑返還対策委」設立（会長 - キム・ソクファン文化財保存局長 平壤）
- 9月22日 日本の過去清算を求める第3回国際連帯協議会（平壤～23日）
- 10月 1日 食糧配給を正常軌道に。市場での米穀販売を禁止
- 10月 8日 金正日総書記、呉儀中国副首相と会見
- 10月 9日 金正日総書記、プリコフスキーロシア極東全権代表と会見
- 10月 9日 金正日総書記、党創立60周年記念中央報告大会に参席（メーデースタジアム）
- 10月12日 日本外務省、韓国大使館、靖国神社、「北関大捷碑」返還の合意文書
- 10月14日 金正日総書記、インドネシアのメガワティ前大統領と会見
- 10月14日 日本の警視庁公安部、「薬事法違反」の口実で科協などを不当捜索
- 10月15日 タイ愛国党代表团、訪朝
- 10月17日 米ニューメキシコ州のリチャードソン知事、訪朝（～20日）
- 10月21日 米財務省、対朝鮮金融資産凍結
- 10月27日 韓成烈国連次席大使、「軽水炉供与でNPT復帰」と講演（米連邦議事堂）
- 10月28日 中国の胡錦濤・国家主席、訪朝（～30日）
- 10月31日 霊通寺、復元落成式（開城）
- 11月 3日 朝・日政府間対話（～4日北京）
- 11月 9日 第5回6者協議（～11日北京）
- 11月22日 整理回収機構、628億円の返還求めて朝鮮総聯を提訴
- 12月 6日 朝・日外務省接触（～8日瀋陽）
- 12月20日 朝鮮中央通信社詳報、軽水炉放棄は朝米合意文の破棄
- 12月24日 海上原油開発に関する朝中共闘協定、締結
- 12月25日 朝・日両外務省、来年1月末の国交交渉再開で合意（北京）
- 12月28日 開城工業団地とソウルの直通電話、開通

- 2006年 1月 5日 統一部、2005年南北交易額は10億5575万ドル(搬出7億1000万ドル、搬入3億4000万ドル)
- 1月 6日 日本の警視庁、2県警が共同捜査 地村、蓮池夫妻の拉致事件
- 1月 6日 WFP、11年ぶりに対朝鮮食糧援助を全面停止と表明
- 1月10日 金正日総書記、中国非公式訪問
- 1月18日 金桂冠外務次官、ヒル米国务次官補と接触(北京)
- 1月26日 政府、政党、団体合同会議、今年を「3大愛国運動年」とし、6.15「わが民族同士の日」を民族共同の慶事にすることを決定
- 1月28日 2005年の訪北者8万7028人(南の統一部発表)
- 2月 3日 **朝・日政府間会談(～8日)**
- 2月23日 日本警視庁、新潟・福井県警、辛光洙、チェ・スンチョルを国外移送目的略取容疑で逮捕状請求
- 2月23日 鈴木政二官房副長官、副大臣会議で「対話と圧力」の具体策を指示
- 2月28日 外務省スポークスマン談話、米は不当な金融制裁を解除し、正常取引のための相互協力に応じよ
- 3月 1日 北関大捷碑、返還式(開城)
- 3月 2日 第3回北南将領級軍事会談(～3日 板門店・統一閣)
- 3月 6日 名古屋入国管理局、名古屋在住の金昭子さん(女性同盟委員長)の再入国許可を不当に保留し1週間遅れで交付(2月27日申請)
- 3月20日 米下院国際関係委員会のアンダーソン諮問委員と駐韓米大使館スタッフが開城工業団地を視察
- 3月23日 警視庁公安部、「拉致共犯容疑」で在日朝鮮大阪府商工会と元理事長らの事務所、家宅等を強制捜索
- 3月27日 人民保安省スポークスマン、日本政府にたいし共和国公民の拉致・誘拐に関与した日本人4名に逮捕令状を発給し、外交ルートを通じ日本政府に身柄引き渡しを要求した旨、明かす
- 3月28日 外務省スポークスマン、日本当局の反共和国、反総聯「圧力」を非難
- 3月30日 高麗航空の平壤-北京便、火木土の週3便に
- 4月 4日 中国の曹剛川国防相、訪朝
- 4月 7日 **軍縮平和研究所代表団(金桂冠次官)、日本国際交流センターの招請で訪日(～13日)。IGCC主催のシンポジウムに参加**
- 4月11日 最高人民会議第11期第4回会議
- 4月11日 日本政府、キム・ヘギョンさんと「金英男」の父子関が判明とDNA鑑定発表
- 4月13日 朝中金属企業が朝鮮でのモリブデン、金鉱山の開発協定
- 4月14日 金永南委員長、共同通信社・加盟新聞社代表団と会見
- 4月17日 カンボジアのノロドム・シハモニ国王、訪朝
- 4月21日 第18回北南高位級会談(～24日 平壤)